

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目 59
Tel 24-2021
Fax 24-2049

誰もがここに住んでよかったと実感できる買い物支援を



菅原明議員

倉成市長は「買い物困難者の具体的な把握はしていないが、自動車運転免許の返納などにより、移動手段を持たない高齢者が増加することで、介護支援のニーズは今後も高まっていくものと認識している。また、最近移動販売を行っていた店舗が閉鎖したこと、こうした地域で、買い物手段が一つ減ることにもなった。様々な買い物手段の形態がある中で、地域

地域のニーズを把握していく

菅原明議員は、地域にお店が無くなり、高齢者や単身世帯の方々が、遠くまで買い物に行くのが心配だ、と言う不安の声が多く聞こえることから、移動販売車の導入など、今後の支援策について質しました。

奥州市議会12月定例会は、11月29日開会し、日本共産党奥州市議団は、12月3日から始まった一般質問に全員が登壇しました。今号では、菅原明議員の質問を紹介します。

衣川地域を 買い物支援の拠点に

菅原明議員は、衣川地域で小さな拠点づくりの場として、各種事業を展開しており、高齢者等の買い物支援事業も取り入れ、検討してはどうかと質しました。

倉成市長は「同じ考え方だと思ったのは、小さな拠点づくりの活用である。自分たちが産直のような買い物できる場所を作るやり方や、移動車を使って一緒に買い物に行ける様な仕組みを作り、高齢者を孤独にさせない視点での買い物支援等が必要ではないか」と述べました。

仙台の各区のつどいで 語った、笑った、聞いた！



日本共産党
前衆議院議員
高橋ちづ子

12月15日

仙台市若林区で女性後援会の集い。吉田剛市議の議会報告、福島かずえ元県議の訴え。世界の激動の中の私たち。ノーベル平和賞、沖縄米兵事件の判決、裏金問題、103万円の壁等々。質疑応答では、「悔しかった」「泣きました」と言う率直な声も出され、その上で、つぎ勝つために様々な意見も！さあ頑張ろう！

仙台市青葉区後援会総会。金田もとる県議、花木のりあき市議と。仙台は、開票翌日の演説以降、はじめて。皆さんのお顔をみて、元気に。戒厳令と緊急事態条項、世界の激動に日本は？それにしても何回喋っても覚えられない「公開方法工夫支出」なんて、

仙台市太白区の集い。嵯峨サダ子元市議の司会、ふなやま由美県議の県政報告も。私は15分の挨拶でしたが、質疑応答の際、「党名を変えたら？」との質問に、

会場から次々手が上がり、「私は今のままでいいと思う。」「旧共産党と呼ばれるだけ」などと活発な議論に！みんな自由に喋ってくれて感動した。それがいいのよ！と私笑。

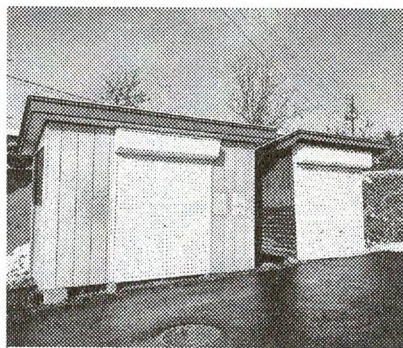


高齢者等へのごみ出し支援策は

菅原明議員は、高齢化と核家族化の進展に伴い、高齢者のみの世帯や、身体に不自由があり、自分でゴミを出せない方が増加傾向にあることから、当市の現状と支援策について質しました。

福祉部門と衛生部門の 連携した支援

倉成市長は「支援を必要な方を把握していないが、介護保険



ごみステーション

サービスのによる居宅介護や、障害福祉サービスによる援助などを利用されている方や、自治会などの地域コミュニティー、地域のサポートにより、生活支援を進めている。福祉部門と衛生部門が連携した支援については、衛生部門によるごみ収集だけでは、全ての個人や事業者に対応することができないごみ出しが難しい。衣川地域の高齢者のごみ出し支援についてをテーマとした地域課題が出されており、生活環境課と地域包括支援センターが連携し、対応策を検討している」と述べました。